

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	【留】日本事情Ⅲ(0589)	
科目基礎情報							
科目番号	0322		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース		対象学年		3		
開設期	後期		週時間数		1		
教科書/教材	『JAPAN-日本タテヨコ-』(Gakken)						
担当教員	齋 麻子						
到達目標							
日本(八戸)と母国とを比較し、日本人を対象に日本語を用いて、その違いについてのプレゼンテーションをできるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		日本(八戸)と母国とを比較することが主体的にできる。	日本(八戸)と母国とを比較することができる。		日本(八戸)と母国とを比較することができない。		
評価項目2		日本人を対象に日本語を用いて、文化の違いについてのプレゼンテーションが主体的にできる。	日本人を対象に日本語を用いて、文化の違いについてのプレゼンテーションができる。		日本人を対象に日本語を用いて、文化の違いについてのプレゼンテーションができない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 DP1 学習・教育到達度目標 DP6 地域志向 ◎							
教育方法等							
概要	【開講学期】冬学期週2時間 日本および八戸で円滑に生活するための知識を得る。 八戸高専での学業を円滑にできるように基礎的な知識を得る。 母国と日本の違いを理解し、日本人に違いを紹介できる能力を身につける。						
授業の進め方・方法	日英対訳の文献を基礎資料としながら、日本への理解を深める。八戸市内については、可能な限り校外で実践的な活動を行うことで理解を深める。学業の礎となる活動については、チューターなどの協力を得ながら理解を深める。日本人に母国を紹介できるような日本語によるプレゼンテーション技術を学ぶ。						
注意点	積極的に参加することが最も重視される。 日本での生活に早く慣れるために、基本的に日本語による自発的な会話を心がけること。 日本人に母国を紹介できるように母国文化について事前に調査するよう心がけること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス/世界の中の日本		授業概要が理解できる 世界地図の中での日本の位置を把握できる		
		2週	世界の中の日本		日本の基礎的な地理を把握できる		
		3週	日本の気候・風土		日本の気候や風土の基礎的な把握ができる		
		4週	日本の気候・風土		日本の中の特に八戸の気候や風土の基礎的な把握ができる		
		5週	地域による差異		日本国内における地域の差異を把握できる		
		6週	地域による差異		中央と東北の差異を把握できる		
		7週	日本の交通		日本の公共交通が把握できる		
		8週	日本の交通		八戸での公共交通機関が把握できる		
	4thQ	9週	日本の産業		日本の主な産業を把握できる		
		10週	日本の産業		八戸の主力となる産業を把握できる		
		11週	日本のしきたり		広く一般的な日本のしきたりを把握できる		
		12週	日本のしきたり		東北・青森・八戸ならではのしきたりを把握できる		
		13週	日本と母国を比較しよう・日本で暮らすことの意味を考えよう。		日本と母国を比較して語ることができる		
		14週	日本と母国を比較しよう・日本で暮らすことの意味を考えよう。		日本と母国を比較して語ることができる		
		15週	まとめ		日本の特徴を母国と比較しながらプレゼンテーションができる		
		16週	まとめ		日本の特徴(特に八戸)を母国と比較しながらプレゼンテーションができる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題提出等						合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0